

PLOT FARO PANTHERA

Round.6 / OKAYAMA ST600 #8



予選レポート

10/4-SAT ウェット

ここ数戦チャタリングに悩まされている寺本。ここ岡山国際でもスピードが上がると顔を出す。

予選開始数週で1分35秒台に入れ、更なるタイムアップを狙うが思うように行かない。若干セットを変更しアタックするが、状況は好転しない。予選も残り10分を切り、変わらない状況の中、ニュータイヤに履き替えコースイン。前後との間合いを計りながら、意地と気合のアタックを開始。1分35秒台で周回を重ねるがコンマ5秒ほどのタイムを上げたところで時間切れ。想定していたタイムに届かず、不満の残る結果となった。 予選10番手 タイム：1'35.406



決勝レポート

10/5-SUN ウェット



最終戦、MFJグランプリ。全車レインタイヤを装着したグリッドには25台の選ばれたライダーが並ぶ。寺本のグリッドは4列目アウト側。スタートダッシュを決めトップグループについていきたい寺本。

シグナルレッドが消え、全車一齐にスタート。少しでも前に行きたい焦りからか、気持ちの表れなのか、スロットルを開けすぎ痛恨のホイールスピン。集団に飲み込まれる形でファーストコーナーに進入していく。ダンゴ状態の中、スタートのミス挽回するべく追い上げを開始。グリッドと同じ10番手まで回復し、1周目を終える。仕切りなおしといきたい

ところだがすでに前との差は大きく、とにかく追い上げに徹するしかない状況であった。2周目にゼッケン43/生形、ゼッケン73/小林を、3周目にはゼッケン77/出口をパスし7番手までポジションアップするが、後方からゼッケン76/清水が2秒近く早いペースで追い上げてきており、4周目に捕まり8番手に落ちるものの、前を追い続けた寺本は7秒近くあった差をものともせず12周目にはゼッケン33/菊田を捉え7番手に浮上する。

さらに前を追う寺本。しかしスタートのミスは大きく、前と6秒、後ろと5秒、単独走行となってしまう、何事もなければ7位確定という状況で向かえたファイナルラップ。バックストレートエンドのヘアピンコーナーでまさかの転倒。マシントラブルが原因で、再スタートもできず、完走扱いの22位。2008年シーズンは、ランキング11位で終了した。

寺本コメント

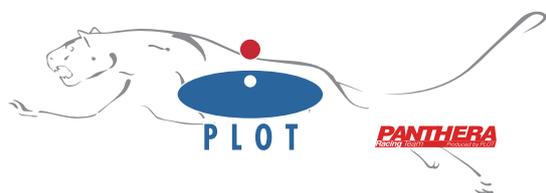
岡山は得意なサーキットで、決勝に向けての手応えがあっただけにマシントラブル、転倒という結果で残念です。ここ数シーズン、いつでもトップ争いができると思っているのに、いつもなにかがうまく噛み合わなくて……。でも今シーズンは乗り方を大きく変えて、新たな自分に挑戦できたのでこれから先が自分でもすごく楽しみです。

今年1年、応援ありがとうございました。来シーズンはもっと面白いレースを見せたいと思います。

ST600 決勝レース10位

2008 ST600/Rider Point Standing 寺本 幸司 11位

2008 ST600/Team Point Standing PLOT FARO PANTHERA 11位



PLOT FARO PANTHERA

Round.6 / OKAYAMA

JSB1000 #15

予選レポート

10/4-SAT ウェット

最終戦、岡山国際サーキットでも採用されたノックアウト予選。予選1回目はトップの107%以内のタイムなら次に進める状況のため、黙々と走り続け、アタックしながらマシンのセットアップを進める。

1'31.581

予選2回目、28台中24台が第2セッションに進める。第2セッションのために、ニュータイヤを温存しアタックを開始。自己ベストを更新する走り第2セッション進出を決める。1'31.293

自身初となる第3セッション進出を賭け、ニュータイヤに履き替え臨んだ第2セッション。コースインしタイヤを温め、アタック開始。いきなりベスト更新の1'31.1。その翌周、自身初の30秒台に突入した。第3セッション進出は叶わなかったが、決勝に向けチームの期待が高まるアタックとなった。

1'30.765 予選16番手



決勝レポート

10/5-SUN ウェット



◆レース1

鈴鹿に続き2レース制で行なわれるMFJグランプリ。ランキングトップテン入りを目指す現在ランキング12位の今野は2レース共にポイントを獲得しておきたいところだが、決勝は今シーズン悩まされているレインコンディションとなった。

6列目アウト側16番グリッドからスタートする今野。悩まされているグリップ不足は解消しておらず1周の間に7台に先行を許し、オープニングラップを23番手で終える。

なんとしてでもポイントを獲得したい今野だが、我慢の走り続ける事しか出来ず、2周目にはゼッケン26/辻村にかわされ24番手。3周目はゼッケン25/本田の転倒により23番手。我慢の走り前を追い続ける今野。徐々に前との差も詰まり、6周目には、ゼッケン31/古川、そして10周目にはゼッケン18/奥田をかわし21番手となった。

我慢の15周を走りきった今野だが、今シーズンワーストの21番手フィニッシュと、ポイント獲得には至らず、第2レースに巻き返しを狙うこととなった。



◆レース2

第1レースのデータを車体に反映し、今シーズン最後の戦いに望む今野。何とか第1レースの結果を払拭させたい。

同じく6列目アウト側16番グリッドからスタート。まずまずのスタートを決め、若干好転したマシンを前に進め、オープニングラップを15番手で終えた今野であったが、2周目にゼッケン13 波多野、3周目にはゼッケン57 石川にかわされ17番手へ。『第レースと同じか?』スタッフに不安がよぎる。

しかし、ここからが違い、追い上げを開始した今野。5周目にゼッケン57/石川の転倒で16番手。前に追いついた10周目、ゼッケン44/児玉。12周目はゼッケン13/波多野をパスし、14番手。さらに13周目にはトップを争うゼッケン64/秋吉、ゼッケン33/伊藤の転倒により12番手。

最終的にゼッケン54/森脇にかわされてしまったものの、13番手でチェッカー。若干好転したとはいえ、悩まされ続けたレインコンディションとは思えないすばらしい走りで最終戦を終えた。ランキング12位



今野コメント

今シーズンの課題『雨のレース』で、ドライで攻められるマシンに仕上がっていても、雨になると思うように走れなくて、納得できないレースになってしまいました。今年はセカンドグループの頭から、トップグループのお尻にレベルアップできた年でしたが正直なところ、もう1ステップ上に上がりたかったです。

今年1年、応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

JSB1000 決勝レース1/ 21位 レース2 / 13位

2008 JSB1000/Rider Point Standing 今野 由寛 12位

2008 JSB1000/Team Point Standing PLOT FARO PANTHERA 13位

SPECIAL THANKS

